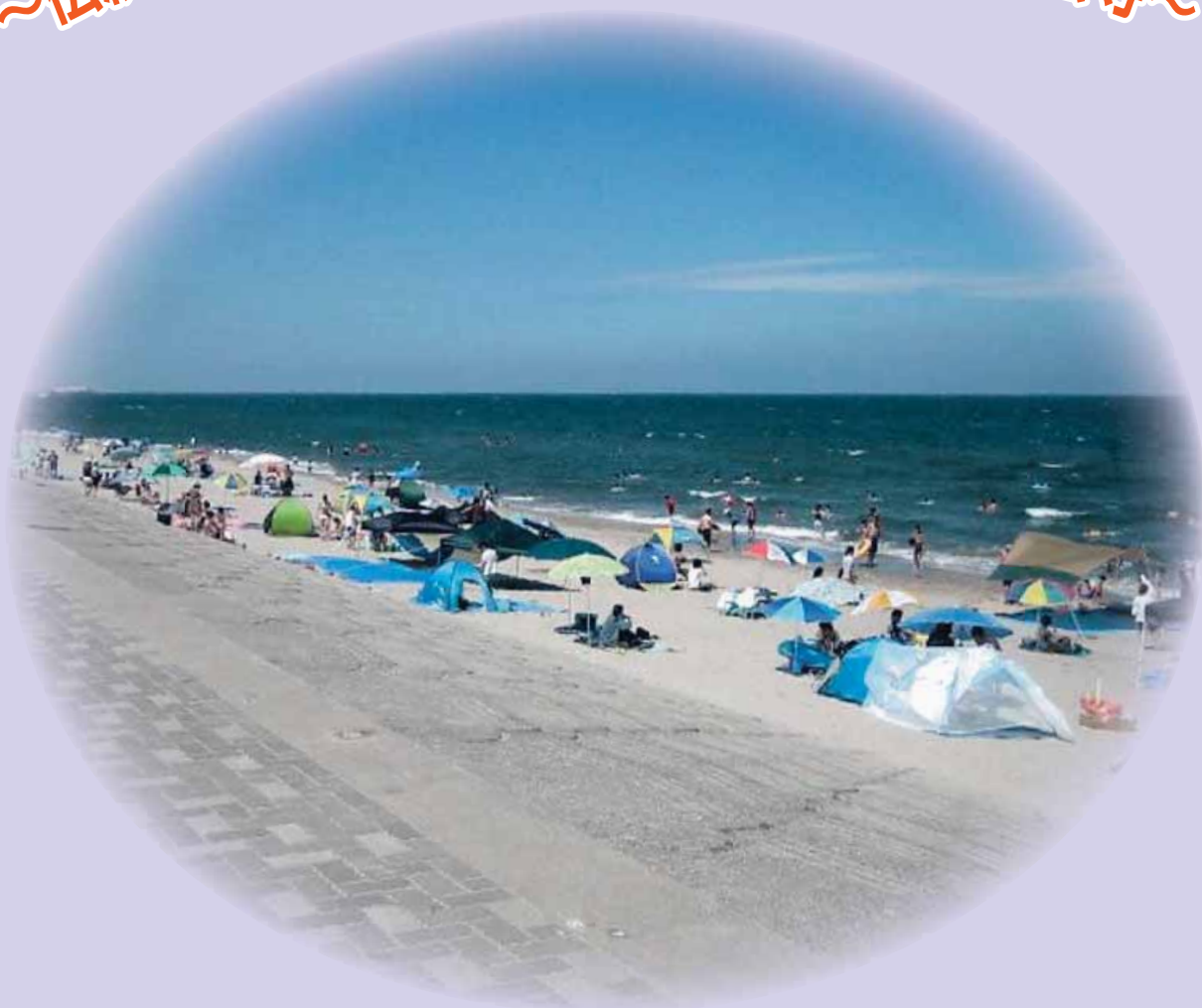


にっこり ほっこり  
あい  
みんなで支え愛 しうんじ

～伝統を守り安心して暮らせる自然豊かな紫雲寺～



紫雲寺地区福祉懇談会 紫雲寺地区自治会連合会

# ご あ い さ つ

紫雲寺地区は、新発田市で唯一海岸線を有する地区で有ります。

地区の西に位置する加治川には、桜が植樹され毎年桜まつりが盛大に行われています。地区全体は農業が盛んで、イチゴ（越後姫）をはじめ様々な農作物が豊富で田園地帯に囲まれた緑豊かな地区であり、また、各地域には伝統芸能が多く引き継がれ、隣近所の絆が強い地区であります。



この度、新発田市及び新発田市社会福祉協議会のご指導のもと、紫雲寺地区の「福祉活動計画」を策定させて頂くことが出来ました。

紫雲寺地区自治会連合会として最初の説明会を受けた段階では、福祉活動という言葉に戸惑いもありましたが、各組織・団体の代表者に呼びかけ多くの方々から参加を頂く中で懇談会を重ね、自らが住んでいる地域の想いが率直に語られ、和やかな雰囲気の中で懇談会をすすめることが出来ました。

地域の良いところや課題、今後の目標など多くの意見が出され、皆で検討し漸くまとめ上げることが出来ました。

この懇談会を通じて、この地区は、緑豊かで美味しい食べ物が豊富なうえに隣近所の絆の深さを改めて感じました。一方では、公共交通の不便さや買い物の不便さ、道路整備（歩道の不備）など多くの課題があることも明らかになりました。行政にお願いする課題は多くあります。行政に対する課題は地域住民と自治会連合会で協力し取り組んで行かなければなりません。

福祉活動計画は、多くの皆さんの協力と努力で出来上がりました。問題は、この計画をいかに実践するかです。是非多くの皆様方にご覧頂き、ご意見を頂きながら更に検討を深めて実践に繋げていければと願うところです。

平成27年3月

紫雲寺地区自治会連合会 会長 大澤 貞夫

# 目 次

1 地域伝言板	
(1) 紫雲寺地区の概要	1
(2) 人口と世帯状況	2
2 計画の概要	
(1) 紫雲寺地区福祉活動計画とは	3
(2) 紫雲寺地区福祉活動計画の目的	3
(3) 紫雲寺地区福祉活動計画の推進に向けて	3
(4) 紫雲寺地区福祉活動計画づくりの意義	4
3 地域の魅力と現状	
(1) 地域の魅力について	5
(2) 地域の現状について	5
4 福祉活動計画	
(1) 基本理念	6
(2) 基本目標	6
(3) 計画の実現に向けて	7
5 策定方法	
(1) 紫雲寺地区福祉活動計画策定団体等	9
(2) 紫雲寺地区福祉活動計画策定経過	10
(3) 紫雲寺地区福祉懇談会で出された意見	11
6 参考資料	
「新発田市地域福祉(活動)計画」の基本理念と体系	16
紫雲寺地区懇談会回覧	18

# 1 地域伝言板

## ● (1) 紫雲寺地区の概要 ●



《面積》  
26.70km<sup>2</sup>

紫雲寺地区の花： れんぎょう ムクゲ きく

紫雲寺地区の木： 松

紫雲寺地区の鳥： メジロ



紫雲寺地域は、新発田市の北西部に位置し、かつて紫雲寺潟（旧塩津潟）の干拓に命をかけ、また日本海の荒波と闘ってきた旺盛な開拓者精神によって守り育てた、農業と漁業を産業の主体としてきました。

干拓地に広がる優良農地や、日本海あるいは河川を活かした農・水産業の一層の発展が見込まれるとともに、日本海の美しい夕日と四季折々の自然あふれる、恵まれた環境を活かしたレクリエーション地帯としての発展も期待されています。自然や風土と密接に関連して発展してきた食料供給地としての機能や、海洋性レクリエーション基地を中核とした観光・リフレッシュ機能を活かしたまちづくりをしています。

### 《紫雲寺小学校地区》 ～ 中心地区 のどかな田園 ～

主要地方道新潟新発田村上線と新発田紫雲寺線が交差する交通の要所で、その周辺には教育施設、福祉施設、公共施設などが集積しています。新潟新発田村上線沿線には主に住居と商店が、新発田紫雲寺線沿線には主に業務系企業が立地し、紫雲寺地域の中心部としての役割を担っています。また、この地区の北側は畑と松林が南側は水田が広がっており、優良な農地として活用されています。

### 《米子小学校地区》 ～ 緑豊かな田園 ～

新潟新発田村上線と県道次第浜新発田線が交差する地域で、その沿線には集落が形成されているとともに、周辺は水田や畑地など農地と公園や松林が広がっています。花や緑豊かな松林そして加治川の自然環境を大切にし、いちごや切り花などのハウス栽培が盛んです。住む人々が生き生きと暮らせる住みよい田園居住地区の形成をめざしています。

## 《藤塚小学校地区》 ～ 川と海 松林と公園 ～

新発田市で唯一の海に接する地区であり、風力発電や新たに整備された松塚漁港は、地域のシンボルともなっています。海岸線沿いに国道113号、南北方向に新発田紫雲寺線が通り、地区の中央部が市街化区域に指定され、それを取り囲むように海岸線及び西側に県立紫雲寺記念公園が、東側にゴルフ場や松林があります。

～「新発田市紫雲寺町加治川村合併の記録」参考～

**《紫雲寺地区キーワード》**

『白砂青松』『拓魂継承』『思いやり』『チューリップ』『れんぎょう街道』『れんぎょうモニュメント』『さえずりの里』『連翹茶』『祭り』『ゲートボール大会』『グランドゴルフ大会』『紫米』『アスパラ』『越後姫』『ル・レクチェ』『やわ肌ねぎ』『しゅうんじパイオニアパーク』『圃場整備』『松塚漁港』

書き入れてみてください！

## ● (2) 人口と世帯状況(国勢調査) ●

旧紫雲寺町

実施年	世帯数	人口				
		総数	男	女	増減数	増減率
昭和35年	1,528	8,566	3,936	4,630		
40年	1,602	8,443	3,991	4,452	△123	△1.4
45年	1,708	8,104	3,822	4,282	△339	△4.0
50年	1,769	7,931	3,749	4,182	△173	△2.1
55年	1,838	8,174	3,889	4,285	243	3.1
60年	1,881	8,273	3,998	4,275	99	1.2
平成2年	1,905	8,279	4,006	4,273	6	0.1
7年	1,933	8,157	3,949	4,208	△122	△1.5
12年	1,966	7,970	3,821	4,149	△187	△2.3
17年	2,002	7,719	3,705	4,014	△251	△3.1
22年	2,042	7,493	3,615	3,878	△226	△2.9

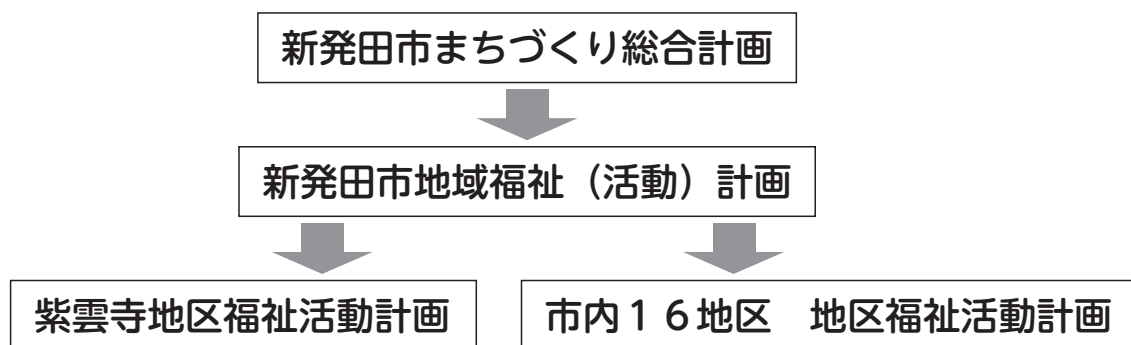
## 2 計画の概要

### ● (1) 紫雲寺地区福祉活動計画とは ●

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、あるべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉（活動）計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「紫雲寺地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉（活動）計画」に基づいた計画です。



(順次策定しています。)

※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

### ● (2) 紫雲寺地区福祉活動計画の目的 ●

紫雲寺地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の魅力と現状」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを行政、社会福祉協議会、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域（紫雲寺地区）で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

### ● (3) 紫雲寺地区福祉活動計画の推進に向けて ●

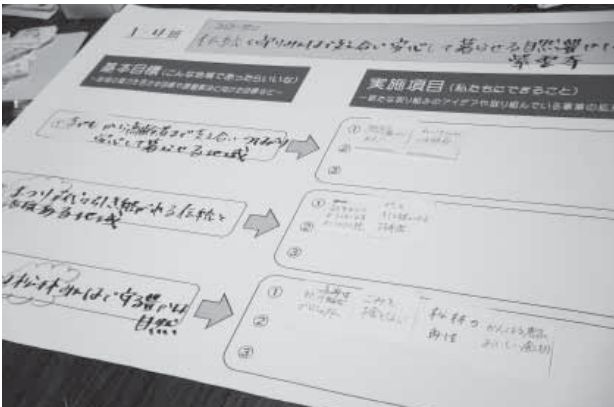
計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、紫雲寺地区の中・長期的な目標として位置づけ、地域の方々と行政や社会福祉協議会などが連携して取組を進めていくことが重要です。

## ● (4) 紫雲寺地区福祉活動計画づくりの意義 ●

### 紫雲寺地区福祉活動計画を地域の人々で作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の優先順位や重点がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなる。

## みんなで作る紫雲寺地区福祉活動計画



## 3 地域の魅力と現状

### 紫雲寺地区福祉懇談会で見てきた地域の魅力と現状

紫雲寺地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは紫雲寺地区住民のみんなの願いです。

この目的のため、地域住民や行政、社会福祉協議会、民間の福祉サービス事業者等が協働しながら、みんなで紫雲寺地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成26年10月～平成26年12月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の魅力と現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

#### ● (1) 地域の魅力について ●

##### ① 地域活動について

- ・自治会活動が盛んである
- ・花ふやし隊、れんぎょうパトロール隊がある
- ・保健自治会活動が盛んである
- ・グループ活動が盛んである

##### ② つながりについて

- ・誰とでも話せる
- ・コミュニティのつながりが強い
- ・世代間の交流がある
- ・地域の人顔が見える（わかる）

##### ③ 地域性について

- ・自然が豊かである
- ・食べ物おいしい（海の幸、野菜、果物）
- ・新発田で唯一の海がある
- ・子どもが遊べる自然が多い
- ・伝統芸能を継承している
- ・高齢者が元気

#### ● (2) 地域の現状について ●

##### ① 地域について

- ・空家が増えている
- ・一人暮らしの人が増えている
- ・若手の地域参加が進まない
- ・未婚男性と高齢者世帯の増加
- ・子どもが少なくなっている

##### ② 生活について

- ・子どもの遊ぶところが少ない
- ・高齢者の居場所が少ない（話し相手がほしい）
- ・交通の便が悪い
- ・子どもや中高生の集まれる場所がない
- ・ゴミ出しなどルールを守らない人がいる

##### ③ つながりについて

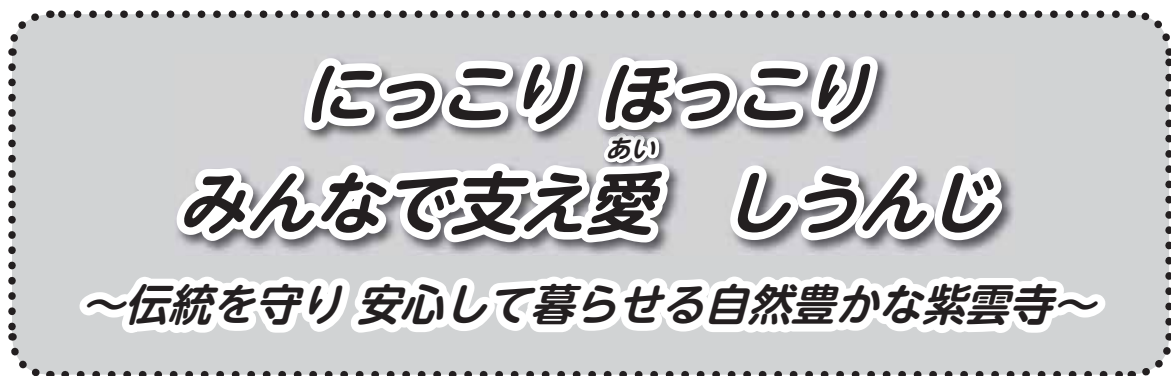
- ・隣近所への声かけが少なくなっている

## 4 福祉活動計画

### 紫雲寺地区福祉活動計画

#### ● (1) 基本理念(スローガン) ●

紫雲寺地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。



#### ● (2) 基本目標 ●

福祉懇談会で話し合われた地域の魅力と現状及び課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	子どもから高齢者まで支え合い 笑顔あふれる地域をつくろう
基本目標 2	大地を守り 食で育む誇れる地域をつくろう
基本目標 3	伝統を引き継ぎ 活気ある地域をつくろう
基本目標 4	世代を超えて 楽しい地域をつくろう
基本目標 5	安心・安全で明るく住みよい地域をつくろう
基本目標 6	『白砂青松』 自然豊かな地域をつくろう

### ● (3) 計画の実現に向けて ●

目標達成の具体的な取組の例 → 福祉懇談会では  
自分達でどんなことができるのか  
アイデアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること(取組の例)

#### 基本目標 1 子どもから高齢者まで支え合い 笑顔あふれる地域をつくろう

目 標		実施項目(取組の例)	
1	子どもから高齢者まで支え合い・つながり 安心して暮らせる地域	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・声かけ、見守り</li> <li>・身近なボランティア(送迎)</li> <li>・れんぎょうパトロール隊</li> <li>・わーけしよ(若者)のいろいろな活動を応援する</li> </ul>
2	つながりが強い笑顔あふれる地域をつくろう	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧板を一声かけてから回す</li> <li>・おせっかい</li> <li>・見守り</li> <li>・目くばり気くばり心くばり</li> <li>・声を出し合える地域づくり</li> <li>・男性介護者のつどい</li> </ul>
3	暮らしやすいまちづくり	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動等へ参加することに意義がある</li> <li>・送迎ボランティア</li> </ul>

#### 基本目標 2 大地を守り 食で育む誇れる地域をつくろう

目 標		実施項目(取組の例)	
1	地産地消	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい食物を生産 がんばる農家</li> <li>・地元野菜を食べる</li> <li>・食物に感謝</li> <li>・食育の推進</li> </ul>

### 基本目標3 伝統を引き継ぎ 活気ある地域をつくろう

目 標		実施項目(取組の例)	
1	まつりで代々引き継がれる伝統と活気ある地域	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能の継承</li> <li>・代々引き継がれる指導者</li> </ul>

### 基本目標4 世代を超えて 楽しい地域をつくろう

目 標		実施項目(取組の例)	
1	交流参加	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流</li> <li>・婚活盆踊り</li> <li>・スポーツ、趣味の会に参加する</li> <li>・子育て支援</li> <li>・地域の活動を応援する</li> </ul>
2	誇れる地域のコミュニケーション	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動にみんなでいつも参加する</li> <li>・声かけ・見守り運動</li> <li>・「助けて」と言える関係づくり</li> <li>・〇(お) (輪)～せっかい！！</li> </ul>

### 基本目標5 安心・安全で明るく住みよい地域をつくろう

目 標		実施項目(取組の例)	
1	安心・安全で健康に暮らせるまちづくり	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災活動</li> <li>・グランドゴルフで健康づくり</li> <li>・れんぎょう・さくら お花見ウォーク</li> <li>・助け合い活動</li> <li>・モラルの向上</li> <li>・れんぎょうパトロール隊</li> </ul>

### 基本目標6 『白砂青松』 自然豊かな地域をつくろう

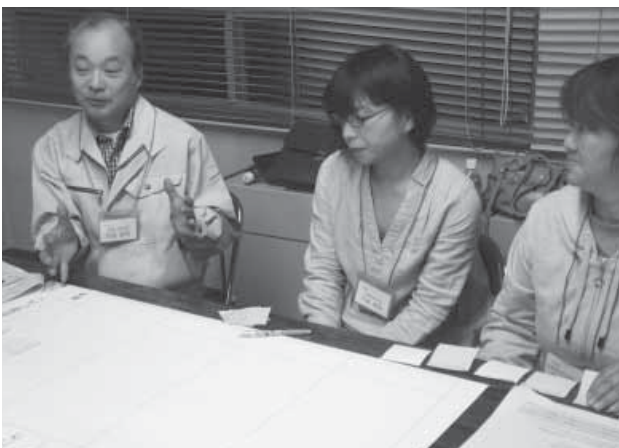
目 標		実施項目(取組の例)	
1	緑豊かな松林、みんなで守る豊かな自然	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫雲「キダケの森」復活プロジェクト</li> <li>・松林再生</li> <li>・ゴミを捨てない</li> <li>・クリーン作戦への参加</li> <li>・花ふやし隊</li> </ul>

## 5 策定方法

### ● (1) 紫雲寺地区福祉活動計画策定団体等 ●

この紫雲寺地区福祉活動計画は、自治会連合会を中心に民生委員児童委員、主任児童委員、保健自治会、老人クラブ、消防団、ボランティア友の会、スポーツ振興会、青少年健全育成協議会、れんぎょうパトロール隊、小中学校PTA、保育園保護者会、新発田北地域包括支援センターなどの人達に呼びかけ、福祉懇談会を開催し、地域の魅力と現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| ●紫雲寺地区自治会連合会    | ●民生委員児童委員    |
| ●主任児童委員         | ●保健自治会       |
| ●老人クラブ          | ●消防団         |
| ●ボランティア友の会      | ●スポーツ振興会     |
| ●青少年健全育成協議会     | ●れんぎょうパトロール隊 |
| ●小中学校PTA        | ●保育園保護者会     |
| ●新発田北地域包括支援センター |              |



## ● (2) 紫雲寺地区福祉活動計画策定経過 ●

年 月 日	会 議 等	内 容
平成26年6月10日	説明会 (紫雲寺支所)	・自治会連合会役員と地域福祉計画について (参加者15名)
平成26年8月26日	打合せ (紫雲寺支所)	・計画策定の進め方について ・紫雲寺小学校区協議会三役と事前打合せ (参加者10名)
平成26年9月12日	打合せ (紫雲寺支所)	・紫雲寺地区福祉活動計画について ・説明と計画策定の進め方について (参加者20名)
平成26年10月1日	打合せ (紫雲寺支所)	・第1回紫雲寺地区福祉懇談会について 紫雲寺小学校区協議会三役と事前打合せ (参加者7名)
平成26年10月1日	第1回 紫雲寺地区福祉懇談会開催案内(全戸配布)	
平成26年10月16日	第1回 紫雲寺地区福祉懇談会 (紫雲寺支所)	・「地域福祉について」研修会 敬和学園大学 講師 川本 健太郎 氏 ・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること グループ発表 (参加者55名)
平成26年11月1日	第1回 紫雲寺地区福祉懇談会実施報告 回覧	
平成26年11月20日	第2回 紫雲寺地区福祉懇談会 (紫雲寺支所)	・グループワーク2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 グループ発表 (参加者40名)
平成26年12月1日	第2回 紫雲寺地区福祉懇談会実施報告 回覧	
平成26年12月18日	第3回 紫雲寺地区福祉懇談会 (紫雲寺支所)	・グループワーク3 前回の振り返り及びまとめ スローガン、基本目標の検討 グループ発表 (参加者39名)
平成27年1月20日	第3回 紫雲寺地区福祉懇談会実施報告 回覧	
平成27年2月4日	第1回 編集委員会 (紫雲寺支所)	・紫雲寺地区福祉活動計画の基本理念と基本目標 などの検討 (参加者10名)
平成27年3月4日	第2回 編集委員会 (紫雲寺支所)	・紫雲寺地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目 などの検討 (参加者10名)
平成27年3月13日	説明会 (紫雲寺支所)	・自治会連合会役員会に紫雲寺地区福祉活動計画 (案)について説明 (参加者10名)
平成27年3月18日	第3回 編集委員会 (紫雲寺支所)	・紫雲寺地区福祉活動計画のデザイン構成などの 調整 (参加者11名)
平成27年3月31日	・紫雲寺地区福祉活動計画完成	

### ● (3) 紫雲寺地区福祉懇談会で出された意見 ●

グループに分かれて、地域の魅力と現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。（グループごとに掲載しています）

#### 1 私たちの地域のいいところ

- ・巡回無料バスがある
- ・医療機関が充実している
- ・保健自治会活動が盛ん
- ・五ヶ字消防団は、新発田一と言っても良い出席率等、新入団員のなり手が多い
- ・地域の人が皆、仲良く暮らしている
- ・おまつりが盛ん
- ・地域でおまつりがあり、大勢の子ども達が集まります
- ・五ヶ字地区の祭りを通して、子どもから老人まで非常にまとまりが良い
- ・バーベキューが復活できて、良かったです
- ・地域でボーリング大会をしています 子ども、大人、高齢の人が参加をします
- ・仲間とグランドゴルフをするのが好きです
- ・グランドゴルフを通じて、まとまりがある
- ・災害が少なく住みやすいところである
- ・となり近所から農作物が届く
- ・食べものおいしい（海の幸、野菜、果物）
- ・米と野菜がおいしい
- ・お米がおいしい
- ・自然が豊か
- ・松林、畑、田んぼがあり、自然が良い
- ・花ふやし隊
- ・祭りがにぎやか（五ヶ字大祭）



紫雲寺小学校 千拓太鼓・千拓音頭



藤塚小学校 藤塚浜六漁太鼓

- ・お年寄りがやさしい
- ・コミュニティのつながりが強い
- ・誰とでも話せる
- ・お年寄りが週4回グランドゴルフをやっていて、お互いのコミュニケーションを図っている
- ・近くに海がある
- ・新発田で唯一海がある
- ・近くに温泉がある
- ・子どもが遊べる自然が多い
- ・れんぎょうパトロール隊がある
- ・年代ごとにグループ、団体がある
- ・地域のリーダーがいる
- ・近所の方が、子どもに声をかけてくれる
- ・小中学校が近い
- ・隣の家々が並んでいる村でいいと思います
- ・声をかけ合っている所
- ・昔より知っている人なので「朝はおはよう、こんにちは、おばんなりました」など声かけ合っていると思います
- ・行事などがある時いやいや言いますが、なんだかんだ言っても参加する人は多いです 顔が見えている様に思います





- ・海がすぐ近くにある
- ・県立公園がある
- ・近所の仲が良い
- ・地域の人の顔が見える（わかる）
- ・近所づきあいがある
- ・住んでいる人の顔が見える
- ・隣近所で声かけを良くする
- ・あいさつが、だれとでも出来る（大人も子どもも）
- ・三世帯世帯が多い 子ども（小学生）が多い
- ・小学生の登校時の見守り（れんぎょうパトロール隊）
- ・いろいろなグループが多く、センター使用がすごい
- ・自治会活動が盛ん
- ・自然環境が良い
- ・祭りがある
- ・年一回お宮様祭りを地域全体でやっている
- ・ゴミステーションの管理が良い（きれいに使用されている）
- ・町内巡回バスがある
- ・地域のつながりがある所
- ・伝統芸能継承
- ・自治会活動が活発
- ・地域の子ども達を、住民みんなで見守っている（登下校の見守り れんぎょうパトロール隊）
- ・伝統行事（お祭り）を大事にし、地域のつながりを良くしている



- ・人間の心が良い 一年に一回集落のお祭りがある
- ・各部落で年代クラブがある
- ・隣近所の行き来が多い
- ・育成会という組織がある
- ・オープンマインド（鍵がかかっていない）
- ・医療機関が多い
- ・親類が近くに住んでいる
- ・のどかでいい
- ・おじいちゃん、おばあちゃん達のグランドゴルフが楽しそうでいいな
- ・自然豊か 自然災害が少ない
- ・飲み会や集まりがよくある
- ・人と人とが他の地域よりつながっている
- ・近所の人と話かけてくれること
- ・まつりやスポーツなど地域活動が多くある
- ・各家庭にレンギョウが配られ、春には一斉に花が咲いてきれいだと思う
- ・送迎ボランティアが有るので助かります
- ・町内は仲が良いが、行事に参加する人が決まっている
- ・越後姫いちごは数あるなかでも、紫雲寺地区が一番おいしい
- ・高齢者が元気！！（グランドゴルフ）
- ・世代間の交流がある
- ・グループ活動が盛んだ（年代別）
- ・アスパラが一番おいしい



## 2 身近なところで困っていること

- ・一人暮らしの人が増えています
- ・50代60代の独身方が心配、家がなくなる？
- ・若い人が少なく、これからが不安である
- ・家庭内の会話が少ない
- ・空家が増えている
- ・大きいスーパーなどがなく、買い物が不便
- ・土日のバスが無い
- ・路線バスが少ない
- ・歩道が整備されていない（ガタガタ）
- ・用水路脇の道路排水口が少ないので困る
- ・消雪パイプが無く、除雪車の後始末が大変
- ・朝、除雪の時間を早くしてほしい
- ・夏になると、海水浴客の車が多い
- ・松くい虫を防いでほしい 緑の保全のため
- ・松林が無くなると困る
- ・ペット（猫）が増えています
- ・動物の被害が多い（ハクビシン、たぬき等）
- ・子どもが少ない
- ・高齢者の居場所が少ない（話し相手がほしい）
- ・若手の地域参加が進まない
- ・となり近所に声かけが少ない
- ・リーダーが少ない
- ・スーパーが少ない
- ・近所にゴミの山
- ・バスが少ない
- ・バスの便が少ない
- ・家を建てる場所がない
- ・空家がある
- ・れんぎょうパトロール隊の参加者が少ない
- ・子どもが少ない
- ・少子化で寂しいですね
- ・子どもの遊ぶところが少ない
- ・近所に同世代の人がいない
- ・老人クラブへの加入者が少ない
- ・自治会長のあり方（仕事）選び方を考え直してもら
- ・生活用品の購入店が少ない
- ・店が少ないため、買い物が出来ない
- ・車が無いと生活が出来ない
- ・交通の便が悪い
- ・特産物とか欲しいと思います
- ・市街化区域外 人口が減る 子どもが少なくなる
- ・交通量が多い
- ・大雨・津波が来たら不安
- ・結婚しない人が多い
- ・子ども達、中高生の集まれる場所がない
- ・子どもが少なくなっている
- ・家族共働きなので、子どもが病気になったとき困る
- ・小学校の通学路が、車の通りが激しいので心配
- ・歩道がない
- ・交通の便が悪い
- ・公共交通機関（バス）の本数が少ない
- ・除雪が良くない 1度押して通るだけ
- ・高齢家族が増えている
- ・独居高齢者世帯の増加
- ・未婚男性と高齢者世帯の増加
- ・小中学生が通学の帰り道、県道横断の所の外灯を点けてもらいたい
- ・交通の便が悪い バスはあるが不便
- ・公会堂が、禁煙分煙になっていない！
- ・ゴミ出しルールを守らない人がいる
- ・よその人がゴミステーションにゴミを捨てて行く
- ・地域に活気が無い
- ・外れてしまうと、孤立してしまう
- ・病院、長期に治療たとえば、整形などの専門病院とかが増えたらいい
- ・松くい虫の被害が、深刻である
- ・子ども達が保育園から帰って来て、遊ぶところがほしい
- ・外灯が少なく暗い所が多い
- ・野焼きをしている人がいる
- ・冬場の県道除雪を（通学路のため）
- ・新発田行きの交通の便が悪い
- ・松林が壊れた
- ・水路が臭い（水路そうじしない）

### 3 こんな地域であつたらいいな

- ・まつりに子どもが多く集まる
- ・子どもの数が多く、にぎやかな地域であれば良い
- ・子どもがたくさん産まれる地域
- ・子ども達が外で遊んでいるような所であればいいと思います
- ・お年寄りから若い人まで、ふれあいが多くある地域であつたら良い
- ・気軽に参加できるイベントが、多くあればいいと思います
- ・新発田に行かなくても、用が足りる町
- ・もっと雇用の場があつたらいいな
- ・豊かな自然を、みんなが自力で守っていけたら良い
- ・よその子どもを叱ったり、注意してほしい
- ・笑いのある顔
- ・元気なあいさつ
- ・いじめのない地域
- ・全員参加できる
- ・静かに生活できる地域であつたら良い
- ・若い人が近くに、良い働く場が多くあれば良い
- ・子どもの声が聞こえる
- ・昔のように、村中で出会いの場があつたらもっといいな
- ・結婚の為に、市がいろいろな方法で出会いパーティを増やしてほしい それがいいろいろの問題の解決
- ・藤塚浜があるのですが、意外と他の地区とは接点がないかもしれません もう少し何か交流があつてもいいかな
- ・自分の得意なことが、人の役にたつ
- ・助け上手 助けられ上手
- ・お年寄りから子ども達までが集える
- ・若者や子どもがたくさんいる明るい地域
- ・若い人が住みたくなるような所
- ・支え合いを共有できる地域
- ・人のつながりを大切にする
- ・子ども達を大切にする地域であつてほしい
- ・高齢者の居場所づくり
- ・公共交通機関が充実
- ・緑豊かな松林の再生
- ・住民と行政が協働できる機会が多いといい
- ・紫雲寺地区は花が多い もっと多く四季折々花が咲いているとステキ！
- ・老人、中年、小中学生一緒の場のふれあいがあつたらいい
- ・子育て出来る場所、施設があれば良い
- ・顔の見える地域
- ・もう少し地区の行事に、お年寄りから子どもまで参加できるものがあればいいな
- ・商店街の活性化
- ・子どもが遊べる所があれば
- ・れんぎょうパトロール隊の人数をもっと多く
- ・現状の地域活動が続くこと
- ・皆が声をかけ合える地域
- ・近所で助け合えるように



## 4 私たちにできること

- ・ 両隣が子どものいない世帯なので、これから助け合う
- ・ 身近なボランティア
- ・ 一人暮らしの高齢者に声をかける
- ・ 五ヶ字地区でのボランティア活動をもっとPRし広げたい（老人を買い物、医者などへ送迎する）
- ・ 普段から気軽に声かけして、つながりを深めていけたら良いと思う
- ・ 盆踊り復活
- ・ 人の話をよく聞いて、多くの人と問題を共有する
- ・ 回覧板を通じて目配り、気配り、心配り
- ・ 高齢者のお宅に行って話をし、認知症に気づく
- ・ あいさつをする事
- ・ 子ども・お年寄りの人に声をかける あいさつ
- ・ 気軽にあいさつする
- ・ 一人はみんなのために、みんなは一人のために  
「ワン・フォー・オール」「オール・フォー・ワン」
- ・ 人と人とのつながりを大切にしたいです 人が困った時は助けてあげたい
- ・ 声をかけ合い お互い助け合う
- ・ 健康で暮らすこと
- ・ 消防団ですので、比較的若い男性の人が集まって、作業をする事が出来ると思います 過去には、雪下ろしをしました
- ・ 地域の皆さんの声かけ
- ・ 何でも進んで参加する
- ・ 交通弱者の送迎ボランティア
- ・ 世帯訪問
- ・ 見守り
- ・ みんなで声をかけ合う
- ・ 今の自然豊かな所を残して行く ゴミを捨てない
- ・ 音楽好きな仲間と、少しでも地域を盛り上げたい
- ・ 老人クラブで旅行、忘年会、新年会
- ・ 自治会長として家庭訪問をしたい
- ・ ボランティア
- ・ 送迎ボランティアの運転メンバーを増やしてもらいたい
- ・ 子ども達の顔を覚えること
- ・ 孤独死だけは無いようにしたい



紫雲「キダケの森 復活プロジェクト」



囲碁将棋大会



子ども芸能音楽祭（紫雲寺中学校音楽部）



チューリップ



れんぎょう・さくらお花見ウォーク

## 6 参考資料

### 「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

#### 1 基本理念

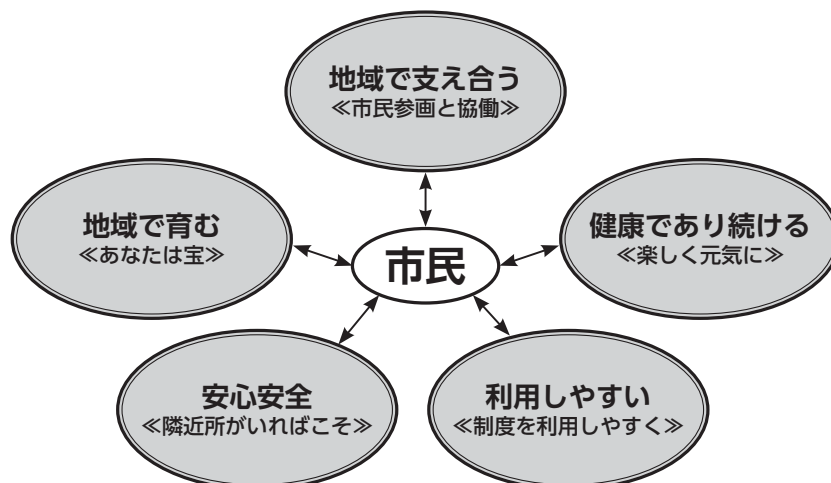
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

### ～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域でともに支え合い、  
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。

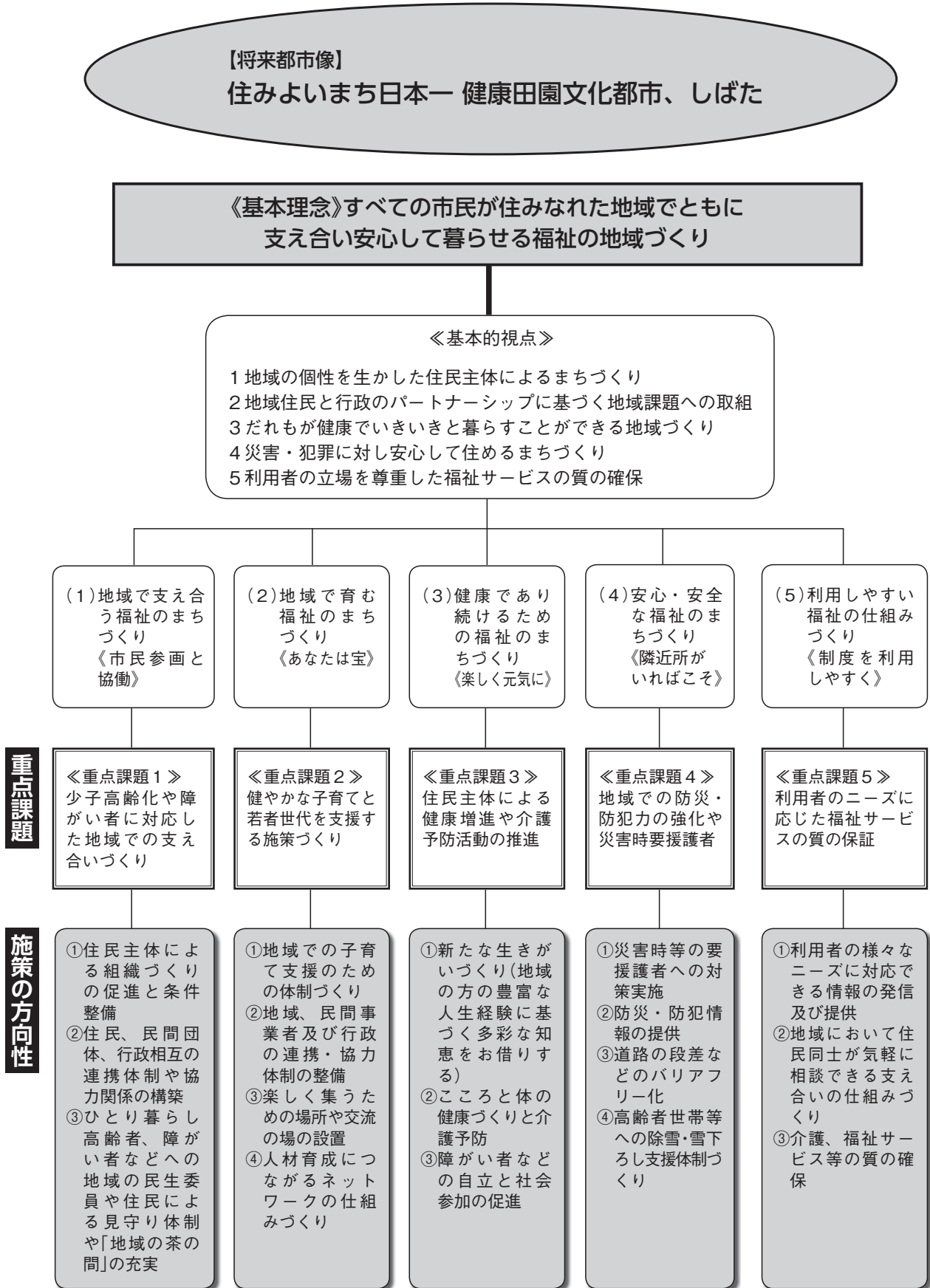


新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課 新発田市社会福祉協議会

## 2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。



# 紫雲寺地区福祉懇談会

第1号 | 平成26年11月1日

## 回覧

誰もが住み慣れた  
地域で安心して生活  
を送るために

地域の人と人とのつながりを大切に  
し、お互いに助けたり助けられたりす  
る関係やその仕組みづくりを目指して



## 第1回紫雲寺地区福祉懇談会

日時 平成26年10月16日(木)  
会場 紫雲寺支所3階 委員会室  
参加者 住民37人、市・社協・包括18人

### ①開会挨拶

紫雲寺地区自治会連合会 会長 大澤貞夫

### ②趣旨説明

新発田市 社会福祉課

### ③勉強会

敬和学園大学 講師 川本健太郎 氏

### ④グループワーク

### ⑤閉会挨拶

紫雲寺地区自治会連合会

紫雲寺小学校区協議会 代表 小松吉人

## 福祉活動計画の理解を深め より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的

な制度(公助)の連携によって解決していこうとする取り組みが必要です。

紫雲寺地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「紫雲寺地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

詳しくは裏面で



## 関心から気づきへ 気づきから共感へ 共感から地域の支え合いへ

“紫雲寺地区福祉懇談会”の会場には、住民37名の方々からご参加いただき、市職員9名、社会福祉協議会職員8名、北地域包括支援センター職員1名と一緒に「紫雲寺地区福祉活動計画」の策定に向けて、計画についての勉強会やグループワークを行いました。

勉強会では、敬和学園大学の川本講師より「生活に密着した福祉問題と解決に向けた仕組みづくり」をテーマに地域福祉計画とは何か、紫雲寺地域における地区福祉活動計画の持つ意義などの理解

を深めました。

また、グループワークでは、顔の見える関係づくりを目指し、グループごとに「私たち地域のいいところ」「身近なところで困っていること」「こんな地域であつたらいいな」「私たちにできること」をテーマに話し合いながら参加者のつながりを深めました。

次回から、魅力あふれる紫雲寺地区を目指して、第1回のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら意見やアイデアを整理し、これからの紫雲寺地区の展望を話し合います



### 第2回紫雲寺地区福祉懇談会

日 時 平成26年11月20日(木)  
19時00分～21時00分  
会 場 紫雲寺支所3階 委員会室

発行 紫雲寺地区自治会連合会紫雲寺小学校区協議会 新発田市 新発田市社会福祉協議会  
編集 新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 23-1000 FAX 26-3300

地域のすべての人が  
自分らしく安心して暮らして  
いける地域を目指して

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



## 第2回紫雲寺地区福祉懇談会

日時 平成26年11月20日(木)  
19時00分~21時00分  
会場 紫雲寺支所3階 委員会室  
参加者 住民25人、市・社協・包括15人

### ①開会挨拶

紫雲寺地区自治会連合会  
紫雲寺小学校区協議会 代表 小松吉人

### ②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・地区の現状と課題の整理
- ・グループ発表

### ③閉会挨拶

紫雲寺地区自治会連合会 会長 大澤貞夫

## ほっとけないの「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

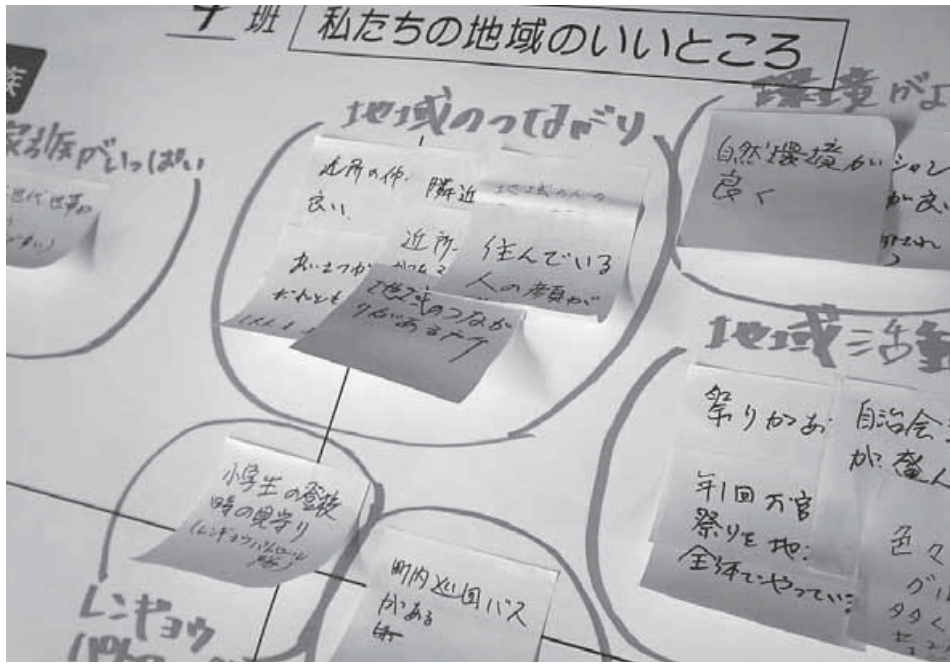
その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

そのため“紫雲寺地区福祉懇談会”では、より多くの住

民に地域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ（地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること）の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。

詳しくは裏面で



## 地域の魅力を再認識し 地域の課題を共有するために

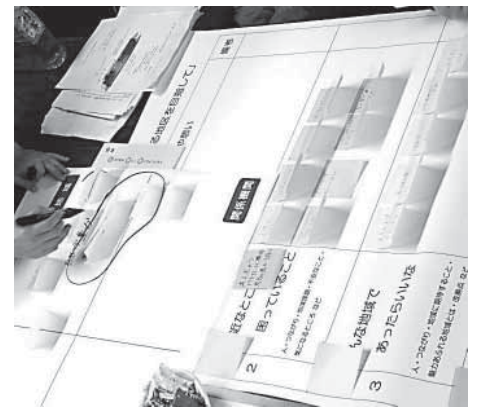
“第2回紫雲寺地区福祉懇談会”では、住民25名の方々からご参加いただき、市職員7名、社会福祉協議会職員7名、北地域包括支援センター職員1名と一緒に「紫雲寺地区福祉活動計画」の策定に向けて、グループワークを行いました。

グループワークでは、第1回懇談会で洗い出された地域にある資源や課題、地域の現状を整理し、今後さらに住み良い地域に向けて、これからの地域像を参加者全員で共有しました。

グループワークの話し合いの中では、紫雲寺地区は「地域の

つながりがある」「担い手が不足している」「地域の茶の間が必要」などの意見や「助けてと言える地域にしたい」「モラルのある地域にしたい」「にっこりほっこりな地域にしたい」など活発な意見交換がありました。

今回は、魅力あふれる紫雲寺地区を目指して、第2回懇談会のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら意見やアイデアを整理し、これからの紫雲寺地区の展望を話し合い、紫雲寺地区福祉活動計画の基本目標を検討します。



### 第3回紫雲寺地区福祉懇談会

日時 平成26年12月18日(木)  
19時00分～21時00分  
会場 紫雲寺支所3階 委員会室

発行 紫雲寺地区自治会連合会 紫雲寺小学校区協議会 新発田市 新発田市社会福祉協議会  
編集 新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 23-1000 FAX 26-3300

### 地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように  
身近な地域で福祉活動を活性化し、  
新しい地域づくりを目指します



### 第3回紫雲寺地区福祉懇談会

日時 平成26年12月18日(木)  
19時00分~21時00分  
会場 紫雲寺支所3階 委員会室  
参加者 住民24人、市・社協・包括15人

#### ①開会挨拶

紫雲寺地区自治会連合会  
紫雲寺小学校区協議会 代表 小松吉人

#### ②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・基本目標の検討
- ・スローガンの検討
- ・グループ発表

#### ③閉会挨拶

紫雲寺地区自治会連合会 会長 大澤貞夫

## これからの地域を話し合い 誰もが参加できる取り組みを目指して

ご近所の助け合いによって  
支えられてきた人々の暮らしが、  
生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、  
地域での連帯感の希薄化などが  
すすみ、制度の谷間にあって  
対応できない課題も多く生じて  
きています。

“紫雲寺地区福祉懇談会”  
では、地域の住民が主体とな  
って地域での支え合いをすす  
める取り組みを活性化し、住  
み慣れた地域でこれまでの社

会関係を維持しながら、誰も  
が生きがいを持ち、地域の社  
会資源として役割を発揮する  
地域づくりに向けて力を合わ  
せることが必要と考えます。

第3回懇談会では、第2回  
のグループワークで話し合わ  
れた内容を振り返りながら、  
整理したキーワードをもと  
に、紫雲寺地区福祉活動計画  
の基本目標やスローガンを検  
討しました。

詳しくは裏面で



## 人と人との「つながり」を地域に広げる あたたかい地域づくりを推進するために

“第3回紫雲寺地区福祉懇談会”では、住民24名の方々からご参加いただき、市職員6名、社会福祉協議会職員8名、東地域包括支援センター職員1名と一緒に「紫雲寺地区福祉活動計画」の策定に向けて、それぞれの立場を越え、参加者全員で第2回に話し合われた内容をもとに、計画の基本目標や具体的な実施項目、スローガンを検討しました。

「まつりで代々引き継がれる伝統と活気ある地域」「誇れる地域のコミュニケーション」などの基本目標や、「あいさつ運動」「身近なボランティア」「多世代交

流」「声かけ・見守り運動」などの目標に向けた具体的な取り組みを話し合いました。

また、スローガンの候補として「伝統を守りみんなで支え合い、安心して暮らせる自然豊かな紫雲寺」「ほっこりにっこりあったかいうんじ」「にっこりほっこり誇れる紫雲寺」が提案されました。

今後、編集委員を中心に、安心して暮らせる地域づくりを目指して、懇談会で話し合われた内容を集約し、地域の助け合い・支え合いを基盤にした住民の福祉活動の指針“紫雲寺地区地域福祉計画”を策定いたします。



### 第1回紫雲寺地区福祉計画 編集委員会

日時 平成27年2月4日(水)

19時00分～21時00分

会場 紫雲寺支所1階 和室

発行 紫雲寺地区自治会連合会紫雲寺小学校区協議会 新発田市 新発田市社会福祉協議会

編集 新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 23-1000 FAX 26-3300

紫雲寺地区編集委員会		
No	団体名	氏名
1	紫雲寺地区自治会連合会	大澤 貞夫
2	上真中自治会	小松 吉人
3	長島一自治会	藤田 喜儀
4	稻荷岡二自治会	吉田 藤幸
5	小川自治会	今井 美代子
6	紫雲寺地区青少年健全育成協議会	比企 広正
7	紫雲寺地区民生委員児童委員協議会	原 定雄



連翹茶

連翹茶は、紫雲寺地区の花「れんぎょう」の葉を100%使用して開発された全国初の健康茶です。



## ～みんなでつながる福祉のまちづくり～

編集：紫雲寺地区福祉懇談会  
紫雲寺地区自治会連合会・紫雲寺小学校区協議会  
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

発行：平成27年3月

新発田市

〒957 - 8686 新発田市中心4丁目10番4号

TEL 0254-22-3101

社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

〒957 - 0054 新発田市本町4丁目16番83号

TEL 0254-23-1000